

2020年9月18日
 住友生命保険相互会社

責任投資原則（PRI）の2020年評価結果について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、責任投資原則（Principles for Responsible Investment 以下、PRI）の2020年評価結果を、お知らせします。

住友生命は、2019年4月にPRIに署名して以来、今回が初めての評価となりましたが、「スチュワードシップ活動（上場株式）」において最高評価となる「A+」を獲得し、その他も署名機関の中央値並みとなりました。

【2020年 PRI 評価結果※1】

分野	評価対象	当社評価	署名機関中央値
戦略とガバナンス	ESG 投融資方針・ガバナンス	A	A
上場株式の投資プロセス	上場株式の投資プロセスにおける ESG 要素の組入れ	A	A
スチュワードシップ活動（上場株式）	上場株式における投資先企業との対話・議決権行使	A+	B
債券投資※2	債券の投資プロセスにおける ESG 要素の組入れ	B	B
不動産投資	不動産の投資プロセスにおける ESG 要素の組入れ	B	B

※1 住友生命の報告内容についてはPRI ホームページを参照ください。

<https://www.unpri.org/signatory-directory/sumitomo-life-insurance-company/4329.article>

※2 債券投資は、国債等、社債（金融）、社債（非金融）の平均を表示しています。

住友生命は、「社会になくってはならない保険会社」の実現を目指し、事業活動を通じた持続可能な開発目標「SDGs」の達成に向けた取組みを進めています。また、ESG 投融資を、その主要な取組みの1つとして位置づけ、持続可能な社会の実現および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、ESG 投融資に取り組んでいます。今回の評価結果を活用のうえ、取組内容を一層レベルアップしていきます。

<PRI の概要・評価手法>

PRI とは、持続可能な社会の実現を目的として、機関投資家等に対し、環境（E：Environment）、社会（S：Social）、ガバナンス（G：Governance）の観点で投融資の意思決定プロセスに組み込むこと等を提唱する原則（イニシアティブ）です。PRI 署名機関は、毎年、責任投資分野（ESG 投融資およびスチュワードシップ活動）に係る取組状況を PRI 事務局宛て報告する義務があり、6段階（A+～E）での評価が付与されます。

※3 評価手法の詳細についてはPRI ホームページを参照ください。

<https://www.unpri.org/reporting-and-assessment-resources/about-pri-assessment/3066.article>

以上